

私のお気に入り 「はなひろ」

『一輪のお花で和んでみませんか?』

学芸大正門前の道を西へ少し行った右手に「はなひろ」本店があります。

昭和54年武蔵野市に開店し、今では本店の他に三鷹、武蔵境、武蔵小金井、一橋学園の計6店舗を構えていらっしゃいます。社長の本澤さんが、朝4時に大田市場まで仕入れに行き、絶妙なタイミングで競り落とすので、いつも新鮮なお花を格安で提供出来るそうです。花束、アレンジ花、鉢植え、仏壇に供えるお花、ブライダルブーケなど各用途に合わせて、親切に相談にのってくださるので、四季折々に気に入ったお花と巡り合えると思います。

これからの季節には、ベルギーマムなどの洋菊や庭に植えられるガーデンスクラメンなどがお勧めだそうです。

一輪のお花が心を和ませ、皆さんの癒しになるようにこれからもがんばっていききたいと、本澤さんはおっしゃっています。

Moriya ナビ



右端が社長の本澤さん



株式会社はなひろ
国分寺市本多5-1-24
042-326-0728
7:00~19:00
年末年始・お盆のみ休業日



掲示板

「秋の地域感謝デー」のお知らせ

包丁研ぎ／まな板削り／端材／焼きそば

地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、今年も地域感謝デーを開催します。
是非、お出かけください。社員、スタッフ一同お待ちしております。



Moriya
ひと紹介

(株)アールティ興業
高橋孝雄さん
高橋 涼さん



高橋 涼さん 高橋 孝雄さん

妥協を許さない仕事ぶり！

高橋さん親子はトビ職の二代目と三代目です。住宅の基礎や足場、外構工事の他に上棟の時には、高所の作業を華麗にこなします。

先代から受け継いだ几帳面さで、コンクリート打ちの技術は天下一品!!

「親子で仕事の話はしないね。」と素っ気ないお二人ですが、爽やかな笑顔が仕事となると終始無言で集中し、動きには少しの無駄もありま

せん。打ち合わせのため、声をかけるのもためらう程です。

カラシ色のニッカポッカ姿で真っ赤なダンプカーに乗る、長身のイケメン親子を見かけたら、それが高橋さん親子です。

Moriya 通信

— 住まいの玉手箱 —
No.37 2011.10

発行: (株)守屋工務店 Moriya通信編集部
〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2
TEL 042-322-5438 FAX 042-325-1011
E-mail moriya-koumuten@bd.wakwak.com

No.37 2011.10
Moriya 通信

— 住まいの玉手箱 —

小金井市I邸



グレーと自然木のコントラストが美しい外観



白い漆喰壁に映る光がきれいな室内

p4-5

自然素材と豊かな白の空間

p2

住まいの玉手箱

p3

道具の話「玄翁げんのう」

p6-7

みんなのコラム

— 私のふるさと(心のふるさと) —
ホームー教室

p8

守屋ナビ はなひろ
掲示板 Moriya 人・紹介

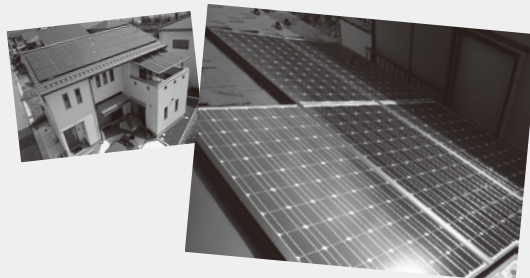
(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL042-322-5438
<http://www.moriyakoumuten.com>

住まいの玉手箱



情報

話題の太陽光発電について考えてみましょう



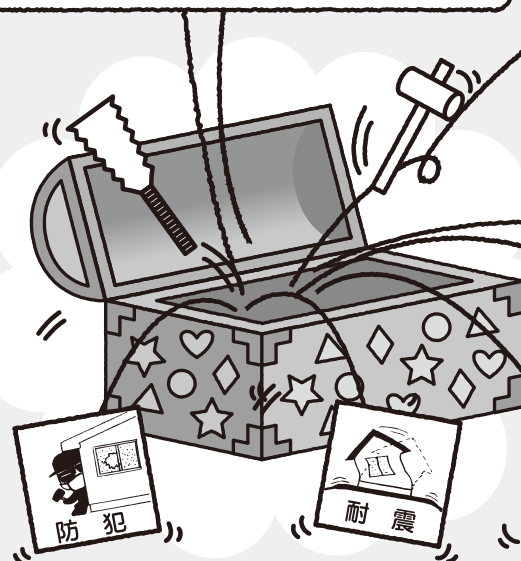
☺メリット

①余った電気を電力会社に買いとってもらえることができる

日中は使用している電氣量を上回る発電量が得られるため、余った電気を契約している電力会社に買いとってもらえます。現在、東京電力の場合、東電から買う電気代は¥24/キロですが、東電に買ってもらう売電価格は¥42/キロと、買う金額よりも売金の方が高く設定され、その期間は契約してから10年間補償してもらえます。

②停電時でも電化製品が使える
(コンセントが1コ分)

断線や地震などによる日中の停電の場合でも日射があるなど、システムの発電ができる状態ならば電化製品が利用できます。ただし、パワーコンディショナー本体につく自立コンセントからのみとなりますので、延長コード等にて引張って下さい。



防犯

耐震

介護

収納

アイデア

☹デメリット

①屋根の上にパネルの荷重がかかるため、構造的に耐震性などの検討が必要

太陽光パネルは一枚が15kg～20kg程あるため、屋根の面積に応じて異なりますが、200kg以上の荷重が屋根にかかることになります。大きな面積では屋根の上に軽自動車一台分位乗る計算です。屋根荷重は耐震性を考える上では、大変重要な問題です。頭の上に重い物を載せるわけですから、足腰のしっかりした構造へ補強することも考えましょう。

②屋根に穴をあけて、フレーム架台を固定し、太陽光パネルを載せるため、雨もり対策はきちんと

太陽光パネルの固定方法は何種類ありますが、台風などでパネルが飛ばされることなどないように、屋根にしっかり固定するため、屋根材に穴をあけて、ボルトで固定していきます。その為に雨もりなどすることのないように、信頼できる施工会社を選択しましょう。

道具の話

玄翁 (げんのう)

其の三

玄翁は、大工道具の中では、最も単純でありながら、絶妙なバランスが求められる非常に奥の深い道具である。打撃面は平らな面で、鑿を叩き釘を打ち込み、もう一方の、やや球状に膨らんだ面で釘の最後の締め打ちや木殺しに使う。

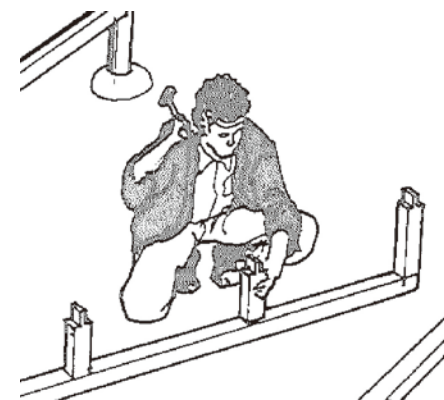
玄翁の頭は、尺貫法を用いて造られる。単位は匁(1匁=3.75g)で、一般的には30～200匁までを造られ、80、100、120匁あたりがよく使われている。家の骨組の刻みは180～200匁の大玄翁が使われるように、用途に応じて重さの違う玄翁を使い分けている。玄翁の柄の材は、ねばり強く折れにくいものを選ぶ必要があり、多くは白樫が使われ、グミやウ



新潟三条の玄翁鍛冶、故長谷川幸三郎の作品である



※長谷川幸三郎は、玄翁界の第一人者と言われ、亡くなられた今でも作品を探し求める大工が数多くいる



シコロシ、ウツギ等も向いている。

柄の長さは玄翁の頭を握って、柄の端が関節の内側に届く長さがよいとされているが、いかに自分にあった柄を上げるかが重要で、形・太さ・長さを自分なりに工夫して上げる事が一つの醍醐味でもある。すり減る事のない一生を共にする道具。これからも大事に扱いたい。

*木殺し=木を玄翁で叩いてつぶす事



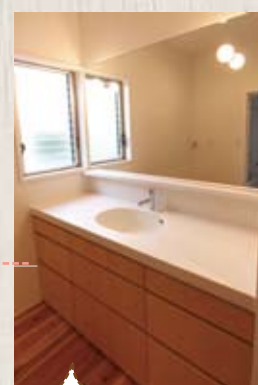
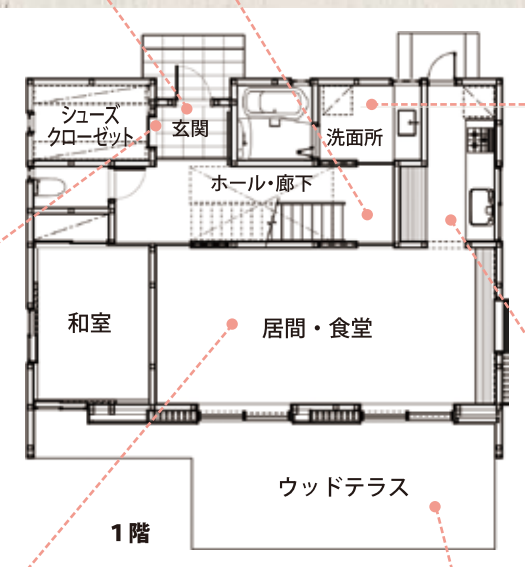
ナラの無垢材で作った玄関ドア。大谷石の床と共にナチュラルな雰囲気です。



1様デザインの、シンプルでダイナミックな桧無垢材の階段。黒の手すりがアクセント。



玄関すぐ横、靴のまま入れるシューズクロゼット。入口扉は、全面カガミです！



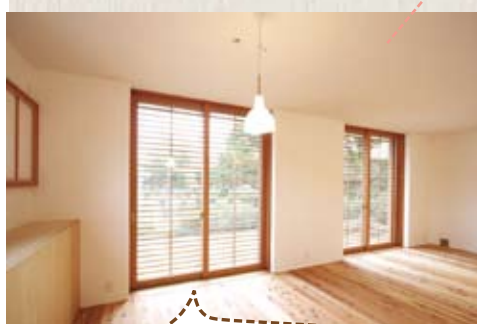
造付けの洗面台。カガミへ直に照明を取付けるアイデアも1様からでした。



東向きの窓から光がいっぱい射込むキッチン。窓の外は大きな畑でいい景色。



天井高さ2.6mの広びろリビング。壁は漆喰、床は厚さ3cmの杉無垢材。自然素材でいっぱいです。



天井までの大きなテラス窓。木製サッシは2枚とも戸袋に入り全面開口も出来ます！



大きなウッドテラス。バルコニーと同じ木材で、統一感を感じられます。



細部まで思いを込めて...

自然素材と豊かな白の空間

シンプルで、光の美しさがある家

新築

小金井市1邸

スタイリッシュな店舗のインテリア関係の仕事をされておられる施主の1様。住まいにも素敵なこだわりがあり、ご自身で多くのスケッチを書かれ、いくつもの素晴らしいアイデアのご提案をいただきました。1様の「シンプルで美しいもの」への情熱にふれ、とても刺激的で楽しい住まいづくりになりました。

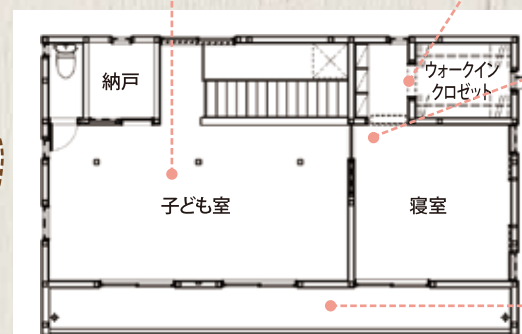
大きな垂木を見せた勾配天井の2階。将来、子供室を仕切られる様になっています。



寝室に隣接した大容量のウォークインクロゼット。風通しに小さな窓を付けました。



寝室のエアコンは、目立たない様に木製ガランを付けたビルトインタイプ。



2階のバルコニーからの眺め。南側に広がる公園が見渡せ、とても気持ちがいいです。



お客様の声

「住まいとは何か？」という自問自答を繰り返し、土地探しから始めて2年間、ようやく完成した家は、そっと私たちにその答えを教えてくれているような佇まいです。担当の鈴木さんには何度も足を運んでいただき、アイデアや意見を頂戴しました。お陰様でこの空間も納得のいくものになりました。沢山の方々の手で造られたこの家を大事にして過ごして行きたいと思います。本当にありがとうございました。これからもこの家を末永くそして温かく見守って下さい。



熱血教師
【会長】
守屋辰雄



長野県の諏訪

NHK 連続ドラマ「おひさま」の舞台になっている長野県の諏訪が私の故郷です。夏は涼しく蓼科高原の別荘地もあり、冬は大変に寒いところで寒天の産地でもあります。ハケ岳に降り積もった雪が春には解けてならかな里山に恵みの水が流れ、諏訪湖にそそいで居ります。東京から車で約2時間、日本の三大奇祭と言われている、諏訪大社の御柱祭が7年に一度行われます。諏訪大社、下社、上社の四隅に16本の樫の太木が柱として建てられます。大変に勇壮で厳粛に挙行されます。150年以上の歴史の中で繰り返されて居ります。私のふるさととは素晴らしいところです。是非、訪れて見て下さい。



オールマイティママ
【経理】
守屋祥子

山形市

私のふるさととは、山形です。盆地なので冬は寒く、夏は暑いのですが、山に囲まれているのであまり災害もなく、お米や果物、山菜などがおいしいところです。私が子供の頃は雪が多く、屋根から降ろした雪を固めて、坂を作って滑ったり、かまくらを作って中で遊んだりしたものでしたが、温暖化の影響か最近根雪になることもなくなったようです。それと同時に、ホッペの赤い山形弁の子供たちもあまり見かけなくなりました…。私は帰省して友人と会えばすぐに山形弁になるのですが…。(笑)

習志野市

もともと私は生まれも育ちも東京ですが、学生時代は習志野市に住んでいました。古いアパートでの一人暮らしはまさに神田川の世界でした。窓は隙間だらけでしたし、たいした暖房もなかったため、寒い日の唯一の楽しみは銭湯に行くことでした。お湯も温かかったですが、人も暖かく、番台のおじさんおばさんとも仲良しになって、たまにりんごジュースをサービスしてもらったりしました。時々『神田川』を聞くとその頃を思い出す心の故郷です。

信頼度No.1
【社長】
守屋辰彦



ふるさと杉並区

私は東京生まれ東京育ちです。父の転勤もなく生まれてから一度も東京を離れたことがありません。銀杏並木通りやアーケードの商店街があり、夏には七夕祭り、阿波踊り、秋にはジャズフェスティバルが開催されます。川沿いには桜の木々が並び、こじんまりしているけれど子どもたちが元気に遊べる施設も点在します。休暇に遠出をして帰ってくると、ホッとさせられる街、我が自慢のふるさと杉並区です。



輝く女性の感性
【設計】
井上佐智子

心のふるさと

長野県でも真中に位置する諏訪湖、この辺りの町、下諏訪町が私のふるさと。冬は誰もが幼少期からスケートをならい、春、遅い春を待ちかねた様に一斉に花が咲き、初夏には虫かごいっぱい捕ったホタルを蚊帳の中に放ち、夏には湖で水泳をしたり魚を獲ったり貝を採ったり、秋には薪を拾いながら、キノコ、アケビ、クリ拾いと野山を駆廻った少年期。今では民家も増え、田畑もほとんど消えました。それでも田舎に帰るたびに、友だちと遊んだ記憶だけは今でも甦ります。



仕事の魔術師
【営業主任】
今井治彦

長野県の民宿

学生の時、夏休みに長野県の民宿で泊り込みのアルバイトをしました。うらの畑でとれる新鮮なレタスがおいしい、自然がいっぱいの素朴な民宿でした。オーナーさん家族もとても素朴で温かい人ばかり。私たち、慣れないアルバイトを使うのは大変でしたでしょうけど、まるで親戚のように親しく接していただき「ここを2つめの田舎だと思ってくれ」と言ってくれました。「ふるさと」というと、まずこの民宿が思い浮かびます。

設計の匠
【設計課長】
鈴木浩司



おばあちゃん家 (宮城県石巻市)

宮城県石巻市におばあちゃん家があります。あたり一面田んぼが広がる長閑な所で、都会では味わえない遊びが出来た事や、言葉のなまったやさしいおばあちゃんとの思い出が詰まった場所です。石巻といっても海から離れているので、大震災の津波の影響は受けずに済みましたが、幼い頃に見た電車からの景色や町並みは想像もつかない被害に遭遇し、心が痛みます。一日も早く立ち直ってくれる事を願っています。



熱意とこだわりの仕事師
【大工・設計監理】
立花慶次

ホーム クイズ①

住まいは家庭生活の基盤となる大切な器です。当社では住まいの役割を正しく理解するための「ホーム教室」を開いております。このコーナーで皆さんも一緒に住まいの本質を考えてみませんか？そこで問題です!!

Q 人が住宅を求めようとする目的はなんでしょうか？

- (A) 何となくマイホームが欲しい。誰もが持っているから・・・
- (B) 人並みの人間らしい生活がしたいから。
- (C) 住宅が古くなったから。狭くなった。不便になった。
- (D) 幸福な家庭生活を営みたい。

A 正解は(D)です。

人が住宅を求める時の「きっかけ」は、人それぞれ違います。家族構成が変わったり、建物が古くなってしまったり…。しかし、住宅は他人に自慢するためのものでも、贅沢をするためのものでもありません。その中で生活をする人が、「日々幸せを感じながら暮らしていける」ということが、住宅を求める最終的な目的なのです。